

2019年10月吉日

2018年度自己評価報告書

大阪電気通信大学高等学校
校長 廣谷 明

「学校教育法施行規則等の一部を改正する省令」に示された「学校評価」をするために「学校内部評価アンケート」の名称で全教職員に実施しました。その内容を基本資料とし、学校自己点検・評価委員会を開催しました。2018年度「学校内部評価アンケート」、2018年度生徒満足度アンケート結果及び2018年度保護者満足度アンケート結果も参考資料とし、2018年度本校の主な取り組みの成果と課題等について検討しました。その結果をご報告いたします。

本校の由来

本校は無線通信士を養成する学校として誕生しました。現在では、普通科（進学コース、健康スポーツコース）、電子工業科（理数コース、電子情報コース、医療電子コース、デジタルゲーム開発コース）の2科6コースを有する高等学校です。本校からの大学進学率は80%程度あり、大阪電気通信大学への進学に有利な高等学校です。

学校教育目標として、

- 一. すべての生徒に確かな知識を与えます
- 二. 人間の生き方を教える教育をします
- 三. 心身ともに健康な生徒を育てます

を掲げ日頃の教育活動に取り組んでいます。

I. 学習意欲・成果向上を目指す取り組み

大学への進学率向上80%以上を目指します。

本校生徒の学力向上のために、

1. 高・大連携授業に取り組めます。
2. 進学希望者に対して特別進学ゼミ（無料・有料）に取り組めます。
3. 大学進学実績80%以上を目指します。
4. スローランナーに対しきめ細かな指導を行います。
5. 資格試験取得の取り組みを行います。

2018年度も、学習の動機付け及び進路指導の一環として、大阪電気通信大学、追手門学院大学等との高・大連携授業を展開しました。

WG「特別進学講座検討委員会」の提案を基に2015年度新1年生から、進学意識の高い生徒を対象にした特別進学講座を学校全体として実施し、3年後の大学合格・進学実績向上を目指しました。

スローランナーの生徒に対するフォローとして、従前にはない学年・教科の連携・指導を強化し、様々な創意工夫をこらして、生徒ひとりひとりをサポートしました。

高大連携事業として大阪電気通信大学の協力を得て各考査前に学生による学習サポート

をお願いし、学習会を実施しました。台風の影響によりエアコンが故障し教室移動が必要になったため学生サポートは1学期の2回で終了しました。

【実施内容】

1. 普通科進学コースのために選抜クラスの導入を検討します。
2. 高・大連携授業を、今後とも併設大学ならびに他大学と連携を強化し推進します。
3. 大阪電気通信大学への進学率向上（40%以上）を目指します。
4. 今後も特別進学講座、進学実績向上を目指して推進します。
他大学への一定数の合格を目指します。
5. スローランナーの生徒のフォローとして今後とも全力でサポートします。
6. 資格試験取得の取り組みを強化します。
7. 自習室を開設します。

【取り組みの成果】

1. 普通科に選抜クラスを設置しました。
2. 高大連携授業を併設大学並びに他大学と例年通り実施しました。
3. 大阪電気通信大学への進学率は51%となり目標を達成することができました。
4. 4年制大学への進学率は、前年度と比較すると79%（昨年度73%）になり6%増加しました。
5. e-learningを導入しました。入学前の生徒の利用を促し、基礎学力の向上を目指しました。スローランナーの生徒をサポートしました。早朝、昼休み、放課後に図書室等を活用して指導しました。
6. 資格試験の取得に取り組みました。
今年度は大阪電気通信大学との高大連携を強化し電気工事士の資格取得のために取り組みました。
7. 自習室を開設しました。定期試験前には大阪電気通信大学と学生の応援を得て試験前に学習会を実施しました。しかしながら、9月の台風の影響によりエアコンが故障したため大学による学習サポートの継続を断念しました。

<自己評価>

[・ ・ ・]

【今後の取り組み】

1. 普通科選抜クラスの活動を検討します。
2. 高・大連携授業を、今後とも併設大学ならびに他大学と連携を強化し推進します。特に併設大学との連携をさらに強化します。
3. 大阪電気通信大学への進学率向上（50%以上）を目指します。
4. 今後も特別進学講座、進学実績向上を目指して推進します。
他大学への一定数の合格を目指します。
5. ICT推進のために基幹工事を実施します。
6. e-learningを継続して導入し基礎学力の向上を継続して図ります。
7. 資格試験取得の取り組みを強化します。

Ⅱ. 生き方を教え、健康な生徒を育てる取り組み

1. 社会性の向上のため 挨拶運動、時間を守る（遅刻をしない）、電車・自転車でのマナー向上、薬物乱用防止講習会等の講習会を実施します。
2. いじめ防止に取り組みます。
3. 教職員努力目標を行動の指針として教育活動に取り組みます。

人間としての基礎力に当たる社会的マナーを向上させる指導に努め、「良いこと」、「悪いこと」の分別の備わった生徒育成を図りました。具体的には、挨拶励行、時間厳守及び登下校中における電車での乗車マナー、道路上での交通マナー向上を図る啓発活動を行いました。

免許取得者（自動車教習所）ならびに自転車通学者（本校）を対象として近隣の自動車教習所（守口自動車教習所）と共同で、交通安全講習会を実施しました。

心身を蝕む薬物乱用について、その防止講習会を2018年度も継続して実施しました。

いじめ防止等に対する基本的な取り組み指針をもとにいじめ防止に取り組みました。いじめ事象の発生・深刻化を防ぐとともに、生徒自身の、いじめを許さない人間らしい生き方を育てていく本校の教育姿勢を明確にし、生徒指導に取り組みました。

WG「心身健全育成検討委員会」の提案を踏まえ、2014年度から取り組んでいる次の教職員の努力目標を2018年度も引き続き掲げて生徒に臨みました。

- 一. 生徒に対して丁寧なことばで接しよう。
- 一. 生徒に対して率先して挨拶声かけをしよう。
- 一. 生徒に対しては迅速な対応につとめよう。
- 一. 身だしなみについては生徒の垂範となるべく努力しよう。

【実施内容】

1. 今年もマナーの向上を目指し、特に時間厳守の指導をしました。
2. 今年も引き続き薬物乱用防止の指導を継続しました。
3. 今年もいじめ防止対策に学校全体で取り組みました。
4. 今年も自転車通学者対象に交通安全講習会を校内で実施しました。
5. 今年も免許取得者に対し近隣の自動車教習所にお世話になり、交通安全講習会を実施しました。
6. 今年も携帯電話活用マナー講座を実施しました。

【取り組みの成果】

1. 社会的マナーは向上し、特に挨拶や言葉遣いなどは良くなっています。
2. 薬物乱用防止講習会を開催結果、生徒たちの意識が高まりました。
3. いじめ防止対策に学校全体で取り組みました。
4. 教職員努力目標4か条を遵守して、生徒との関係は良好でした。
5. 自転車通学者対象に交通安全講習会を近隣の自動車教習所の協力を得て校内で実施しました。

6. 免許取得者に対し近隣の自動車教習所にお世話になり、交通安全講習会を実施しました。
7. 携帯電話活用マナー講座を実施しました。
8. 残念ながら遅刻の件数が増加しました。

<自己評価>

[◎ ・ ○ ・ △ ・ ×]

【今後の取り組み】

1. 今後ともマナーの向上を目指し、特に時間厳守の指導を強化します。
2. 今後とも引き続き薬物乱用防止の指導を継続します。
3. 今後ともいじめ防止対策に学校全体で取り組みます。
4. 今後とも教職員努力目標4か条を遵守して、生徒と接します。
5. 自転車通学者対象に交通安全講習会を校内で実施します。
6. 免許取得者に対し近隣の自動車教習所にお世話になり、交通安全講習会を実施します。
7. 携帯電話活用マナー講座を実施します。

Ⅲ. 退学者を減らす更なる取り組み

1. 家庭との連絡を密にして遅刻・欠席を減らすよう取り組みます。
2. 試験不正行為は成績の低下を招くため不正行為が起こらないよう努めます。

退学者は2017年度は、4.1%【38名】、2018年度は3.5%【30名】となり目標である4%未満をクリアすることができました。

学力の向上、きめ細かな生徒指導等を通して、2018年度は定期試験での不正行為0名を目指していましたが2件発生しました。また、生活指導の問題行動は12件30名となり昨年と比べると増加しています。2019年度は問題行動が減少するよう取り組みを強化する必要があります。

【実施内容】

1. 退学が決定する前の早期の段階で、複数教員の指導が出来る体制づくりを検討し、新しい仕組みをつくります。
2. スクールカウンセラーのさらなる活用を検討します。
3. 特別支援コーディネータを設置し、特別支援に取り組みます。

【取り組みの成果】

1. 学校への登校できない状況で、家庭訪問、保護者との懇談を実施し複数教員が関わって学年での取り組みが進んできている。
2. スクールカウンセラーの来校回数を増やす取り組みをしました。
3. 特別支援コーディネータを配置し支援室を設置しました。

今年度の退学者は30名(3.5%)でした。昨年度は38名(4.5%)でした。

<自己評価>

[◎ ・ ◻ △ ・ ×]

【今後の取り組み】

1. 退学が決定する前の早期の段階で、複数教員の指導が出来るようになること。学校全体で退学者減少に向けて取り組みを強化します。
2. スクールカウンセラーのさらなる活用を検討します。
3. 特別支援の在り方について検討します。

※ 各種本校評価より

IV. 教職員自己評価アンケート結果

前年度と比較すると評価Aが	13項目から	23項目へ増加しました。
評価Bは	17項目から	11項目に減少しました。
評価Cは	11項目から	9項目になりました。
評価Dは	9項目から	7項目になりました。

評価が上昇した項目は

私学の独自性2つ、教職員連携1つ、財務関係1つ、情報公開2つ
危機管理2つ、情報教育1つ、生徒指導1つ、生徒支援2つ、教員研修1つ
全般1つ、学習1つの15項目であった。

評価が下がった項目は

その他2つ、教員研修1つ、生活1つの4項目であった。この中で特に評価が低かった項目は、校外研修の体制が整っていないという内容である。

今年度、授業参観の機会を設けることができましたが、教職員が外部へ研修に出た場合の報告会の機会を設けることができませんでした。引き続き機会を設けるよう努力してまいります。

V. 卒業生徒・保護者に対するアンケート結果

本校のWG「満足度調査委員会」提案に基づき、2019年3月卒業生及び保護者を対象とした「本校評価アンケート」を実施しました。卒業生は299名（普通科124名、電子工業科175名）のうち生徒の回答は291名【97.3%】、保護者の回答は205名【68.6%】です。

この調査は、本校の教育方針・活動（授業・補習・クラブ活動・行事・教職員対応・教育設備・施設等）に関する40項目（保護者27項目）についての満足・不満足度を問うものです。

満足であった回答は、

生徒の回答から

- ・クラスは居心地が良かった
- ・事務職員は親切に対応してくれた
- ・教科に関する満足度
- ・進路指導に関係する満足度

が高い傾向（回答の60%以上が満足）にあります。

保護者の回答から、

- ・事務職員は丁寧に対応してくれた
- ・電通高校に入学させて良かった
- ・教員の保護者への対応は適切であった

の満足度（回答の82%以上が満足）が高くなっています。

不満足であったという回答は、

生徒の回答から

- ・電通高生としての誇りが持つことができた
- ・生徒会活動は活発であった
- ・学校施設全般は充実していた

が35%以下の満足度です。

保護者の回答より

- ・クラブ活動は活発であった【45%満足】
- ・学校施設・設備は充実していた【48%満足】

等々に対する満足度が低くなっています。保護者の回答では45%以上が満足であったということがわかります。

VI. 学校関係者評価委員会

2015年度から保護者・同窓会・地域住民を構成員に加えた「学校関係者評価委員会」を発足しました。本校の評価及び保護者・地域住民との連携に係る審議・評価が行われました。この評価は、教員の「自己評価」と併せ、本校のHPにて公表しました。

教員による自己評価アンケート

1. 授業参観などの機会が不足している。
2. 校外への教員研修等への参加が不足している。
3. 地域との交流が不足している。
4. 財務関係の情報が不足している。
5. 挨拶などマナー・礼儀の指導の成果が上がった。

生徒による学校評価アンケート

1. 電通高生として誇りを持っていない生徒が多い。
2. 学校施設全般に満足していない生徒が多い。
3. 生徒会活動やクラブ活動が全般的に活発でない。
4. 遅刻や欠席に対する指導に熱心だった。
5. クラスの居心地が良かった。

保護者による学校評価アンケート

1. クラブ活動が全般的に活発でない。
2. 学校施設・設備が充実していない。
3. 電通高に入学させて良かった。
4. 事務職員は丁寧に対応してくれた。
5. 教員の保護者への対応は適切であった。

意見交換

- A. 生徒の制服の着こなし方やマナーがよくなった。挨拶をしっかりしてくれるので大変気持ちがいいです。昔の生徒さんと比べるとずいぶんおとなしくなった。ゴミ拾いをしている姿もとても印象がよいです。
- B. 用事があって来校しても挨拶をしっかりしてくれるので気持ちがいい。クラブ活動も活発であり活気を感じる。まじめに取り組んでいるという印象が強いです。
- C. 授業参観日を設定し実施することができました。
- D. 耐震改修が終了した直後に地震、台風の被害を受けましたが校舎に大きな被害はなく耐震改修が終了して良かったとの声がありました。ただ、エアコンの室外機が故障し暑い中予備教室等を利用して授業を行うことになりました。

【実施内容】

1. 教員による自己評価アンケートを実施しました。
(内容は重点実施目標及びその取り組みと成果の50項目)
2. 卒業生・保護者による本校評価アンケートを実施しました。
(卒業生40項目・保護者27項目)
3. 第3回学校関係者評価委員会開催しました。
(保護者、同窓会、地域住民で本校の評価)
4. 本校ホームページに公表しました。(上記1.2.3.の内容)

【取り組みの成果】

学校関係者評価委員会を開催し、保護者代表・同窓会代表・地域住民代表の方々の意見や評価を頂きました。

<自己評価>

[◎ ・ ◯ ・ △ ・ ×]

【今後の取り組み】

1. 今後とも外部の方々との連携や交流を深めて評価や意見を頂き、今後の学校運営に大いに役立てたいと思います。又、学校評価等で評価の低い回答の項目に対しては改善策を検討し、全教職員による実践が不可欠です。それぞれの項目に対して全力で取り組みます。
2. 教職員アンケートのなかで特に評価の低い、授業参観を実施することができました。継続して実施していきます。

資料1 2018年度3年生及び保護者アンケート集計結果.pdf

資料2 2018度教職員自己評価アンケート集計結果.pdf